

多面的機能の維持・発揮活動

【コミュニティ部門】

こやす さと かい

子安の里の会(紀宝町)

みんなで守る、自然豊かな農村風景！

地域住民との繋がりを大切に活動しています。

活動の状況 (認定農用地面積A=32.6ha)

紀宝町は三重県の最南端に位置していることから、温暖な気候と豊かな自然に恵まれており、「子安の里の会」の活動拠点である神内地区は、豊富な水資源に恵まれている田園地帯であります。

同組織は平成27年度に設立し、農地や農業用施設の維持活動を行うだけでなく、約20名の構成員に加え、地元住民で構成された地域活性化グループの「神内生き活き協議会」と連携しながら農地を守っています。また、地元小学校、地元企業と連携し、田植え、稲刈り作業を通じて交流を図り、農業・農用地の大切さを学ぶ機会を作っています。さらに小学校が開催する「収穫祭」では、地域住民とともに出来上がったお米で食し、地元企業でも食堂等で提供してもらっています。小学校との連携は14年目、企業との連携は8年目になり、毎年恒例行事となっておりますので、活動を継続していく活力にもなっています。

活動取組は、報道機関への提供や紀宝町の広報誌「広報きほう」、連携する学校や企業の通信を活用するなど関わる人々の力も活用し、積極的に行っています。地域住民との繋がりを大切しつつ、新たな取組にもチャレンジし、今後も地元にも活気をもたらししていきたいと考えています。

地元企業(紀南電工)との交流 (田植え)



収穫したお米は、「紀南米」として紀南電工本社(松阪市)でも提供。

共同作業 (草刈り)



神内小学校との交流 (左: 田植え、右: 稲刈り)



小学校高学年、組織、地域住民と一緒に活動。町内では唯一の取組。

神内地区全景



圃場整備しておらず様々な形の田がある中、地域で協力し合い農村風景を維持している。